

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢期運動連絡会
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンポール中野504号
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
http://www.nihonkouren.jp

発行：毎月1日
2017年11月15日
No.327



10・13「第29回秋田県高齢者大会」＝秋田市文化会館（記事P3）

「第31回日本高齢者大会in沖縄」開催中止の報告とお詫び

各位

日頃より高齢期運動・高齢者大会に対するご協力ありがとうございます。また第31回日本高齢者大会in沖縄へのご支援・ご協力にお礼申し上げます。

さて沖縄大会(10月28～29日)は台風22号の襲来により、参加者の安全を最優先とし、全日程中止とさせていただきます。

台風22号については熱帯低気圧であった10月23日以降その動向を注視し、25日夜の現地実行委員会開催の時点では29日(分科会)は台風が通過し実施できるのではという期待もありました。しかし26日になって沖縄本島よりの進路となりスピードも遅くなり、28日(全体

会)は暴風圏に入り、29日も影響が残るとの沖縄気象台の予報から、26日午前にも全日程中止を決定いたしました。

メッセージや祝電、協賛広告をいただいた団体の皆様、講師・助言者をお引き受けいただいた皆様、参加を楽しみにされていた皆様、多くのご支援ご協力をいただきました皆様にお詫び申し上げます。

31年の高齢者大会史上初めての中止という事態になり、事後処理などを行っている中で正式な報告が遅れたこともお詫び申し上げます。

高齢者をめぐる情勢、状況はますます深刻です。私たちは引き続き、沖縄で、全国で高

高齢者の要求を実現し、一人ぼっちの高齢者をなくす取組、憲法が輝く平和な未来をめざす取り組みを強める決意です。今後とも高齢期運動にたいするご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月13日
第31回日本高齢者大会in沖縄中央実行委員会
委員長 藤原高明
同沖縄実行委員会
委員長 平安山英盛

大会に祝電・メッセージを頂戴しました。ありがとうございました。

(団体名・敬称略・順不同)

自交総連	全国保険医団体連合会	日本国家公務員労働組合連合会
日本国民救援会中央本部	日本医療労働組合連合会	日本のうたごえ全国協議会
安保破棄中央実行委員会	郵政産業労働者ユニオン	全国検数労働組合連合
日本自治体労働組合総連合	子どもの権利・教育・文化	全国センター
日本婦人団体連合会	平和・民主・革新の日本をめざす全国の会	(全国革新懇)
憲法改悪阻止各界連絡会議(憲法会議)	新日本スポーツ連盟	
日本民主青年同盟中央委員会	自治体問題研究所	(2017年10月26日現在)

憲法が輝く平和な未来を 10・17「第16回宮崎県高齢者大会」 3つの分科会と全体会に120人が参加 宮崎県高齢期運動連絡会

「第16回宮崎県高齢者大会」が10月17日、宮崎市民プラザで開かれ、県内から120人が参加しました。



午前中に3つの分科会を開催。第1分科会は「木花巡回バス～開始から10年の道のり～」、第2分科会は「何歳からでも体力はつけられる」、第3分科会は「子どもの貧困とは何か～子ども食堂にかかわって～」と題して講演・学習会がありました。

午後の全体会前のオープニングでは、宮崎センター合唱団と一緒に「老いも若きも」をはじめ数曲の歌をみんなで合唱しました。

田中哲史氏(宮崎県高齢期運動連絡会会長)が「今回の高齢者大会は“憲法が輝く平和な未来を”をスローガンに開催しました。

衆議院総選挙の取り組みが行われていますが、争点は本日の記念講演にもあります通り“原発・安保・憲法”です。高齢者は戦争を経験し、困難な時代を乗り越えてきました。憲法を活かす政治に我々高齢者は協力しましょう」と開会あいさつをしました。



宮崎日日新聞宮日芸短歌欄選者で、牧水・短歌甲子園審査員をつとめられている歌人の大口玲子氏が、『短歌で世界を見て見ると～

現代短歌からみる安保・沖縄・憲法〜』と題しての記念講演。「短歌には小説とは違う魅力があり、喜怒哀楽が言えます。72年前の戦中の短歌は、気持ちを高揚させる歌が数多くありました。現代は原発・安保・憲法と、時代の危機にきています。短歌は情報でもないし科学的なものでもありません。感動を伝えるものです。一人ひとりの力は小さいですが、その時代のことを短歌で社会に歌っていければと思います」と、ご自身の短歌をはじめ著名な歌人の歌を紹介しながら講演されました。

最後に第16回宮崎県高齢者大会アピール案をみんなで採択。田爪方子氏（年金者組合）が「午前中の3つの分科会では、どれも高齢者の切実な要求を学習できたのではと思います。記念講演を聞いて時代の危機を受け取り発信し共有する短歌を、みなさんも詠んでみましょう」と閉会あいさつを行い、高齢者大会後に開催された年金一揆への呼びかけを行いました。

（宮崎県高齢期運動連絡会事務局 田中裕人）

憲法9条を断固として守り抜き、子や孫に伝えていこう 10・13「第29回秋田県高齢者大会」140人が参加 秋田県高齢者運動連絡会

第29回秋田県高齢者大会は、10月13日（金）、秋田市文化会館大会議室で開催されました。総選挙期間中でもあり参加者が心配でしたが、昨年とほぼ同じ140人の参加でした。

大会は10時～12時30分の2時間30分。実行委員会の基調報告、藤谷恵三連絡会事務局長の記念講演「手をつなごう 老後の安心のために！～データでみる秋田県の高齢者～」、質疑応答・参加者発言、大会宣言採択などでした。

講師の藤谷さんはパワーポイントを使って①秋田県の高齢者の現状②高齢者の願いと高齢期運動の課題③何をなすべきか？何から始めるか について豊富な資料を駆使して分かりやすく講演しました。そして、「高齢者オンブズマンを始めよう」「地域の要求をまとめ、議会交渉をしよう」と訴えました。講演後、参加者から「地域の老人クラブ等とどう連携したらよいか」などの質問や医療、地元

商工業者の現状の訴えもあり、発言が時間までつづきました。

大会は最後に「憲法9条を断固として守りぬき、子や孫に伝えていこう」「全国一の人口減少と高齢化が進む秋田県。大会で共有した高齢期運動を各地域で進めていこう」などを内容とする大会宣言を採択しました。実行委員会では今後の秋田県高齢期運動の発展につながる内容にと位置付けた今大会でした。会場アンケートには「現状の把握とこれからの問題提起について良く理解できました。今後の行動にむすびつきたい」との感想が寄せられました。

尚、この日は午後には年金者組合の「年金一揆」集会が同じ会場であり、官庁街デモ行進にほとんどが参加、「年金下げな」「憲法を守り、活かそう」と市民に訴えました。

（大坂谷邦雄 記）

小川政亮先生を偲び社会保障を語る会 160人参加で先生の偉業を受継ぎ未来を語る意義ある会に！

小川政亮先生は、2017年5月7日97才で自宅にて逝去されました。先生はエンディングノートで「偲ぶ会をやるなら今の社会保障状況についての会に」とあり、今回このご遺志をう

け「小川政亮先生を偲び、社会保障を語る会」となりました。

会は、11月5日東京で開催され、先生の教えを受けた研究者や福祉関係者など多彩な人々

160人余が参加し、先生への思いと、社会保障崩壊の危機の中で各自が置かれた分野で先生の意味を引継ぎ奮闘する決意が述べられ盛大な会となりました。

以下「会」とは別に個人的な思いを少し書きます。



小川先生は、日本高齢者大会にもずっと参加されていていました。「90才を超えた私には全体会の講演がほとんど聞き取れなかった、何とか聞こえるように音響など改善できないものか」と大会事務局長をしていた私に感想を寄せられました。しかし音響関係者に問い合わせなどしましたが、現状では難しいとのことで、先生の提言を解決できないままです。「歳とともに体の機能が後退していくのにそれに対応すべきそれが高齢者の人権を守ることだ」と先生にお叱りと激励をされているようにも思えます。

先生は、戦後日本の社会保障制度が歩み始めたころ「権利としての社会保障」(1964年)を出版され社会保障を学ぶ学生や医療や福祉で働く人に社会保障とは何かの真髓を心に刻ませてくれました。

また、2000年には「高齢者の人権～これまで・

これから～」(自治体研究社)を出版され、戦前日本の高齢者の人権、日本国憲法と高齢者の人権、世界の高齢者の人権、国際高齢者年にみる高齢者の人権等々についてふれ、何を学び運動に生かすかなど貴重な提言をされています。その終わりの章から一部を紹介します。

国連・高齢者のための国連原則にふれた後・・・

「以上のような高齢者のための諸原則を生かすように、私たちは活動していきたい。そういう私たちの国をつくりたい、私たちのまちをつくりたいものです。ところで政府は何かという、高齢化で大変だといって世代間の分断・対立を煽り立てて、年金や医療等々の社会保障改悪、社会保障の権利抑圧をはかっています。しかし高齢者の人権を守るということは高齢者だけの問題ではありません。高齢者の人権が守られる社会は若い人たちも安心して暮らせる社会です。若い人たちもいずれは高齢化するのです。若い人たちの明日が希望をもてる社会であるかどうかということでもあるのです」

小川政亮先生の遺志を受継ぐことの決意をこめ、会の報告とします。

(一社)日本高齢期運動サポートセンター

鐘ヶ江正志

追記 小川先生の「最期まで自宅で過ごしたい」意思を尊重し、家の近くにあり、病院建設運動にも参加された大泉生協病院の在宅サービスを利用されました。

●お知らせ

第31回日本高齢者大会in沖縄・中央実行委員会の第2回総会(解散)、第32回日本高齢者大会中央実行委員会の第1回総会を、2018年2月19日(月)午後1時半～4時半 東京都中野の東京都生協連会館(予定)で行います。

従来は12月に同様の会議を行っていましたが、沖縄大会が10月末だったこと、1月は名護市長選挙があることが理由です。正式な招集文書は別途お送りしますが、今から予定をお願いいたします。

第31回日本高齢者大会in沖縄は、台風のため中止となってしまいましたが、現地沖縄実行委員会では、大会第一日目全体会で参加者に配布する「速報第一号」を26日時点で作成しました。いわば幻の速報となってしまいましたが、沖縄の皆さんの意気込みを少しでもわかっていたいただくために、本ニュースに転載いたします。

なお、速報の作成には和歌山県高連の中北さんの大いなるご協力をいただきました。